

氏名	齋藤恵子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	学士（看護学）、修士（保健医療学）、博士（健康科学）				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士前期課程修了、2006年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士後期課程単位取得満期退学、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程修了				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部・大学院保健医療福祉学研究科教授				
所属学会（役職）	日本国際看護学会（理事）、日本母性衛生学会(査読委員)、日本国際保健医療学会、日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本母性看護学会、日本思春期学会、日本性感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本健康学会、日本保健福祉学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	看護学テキストNiCE国際看護（改訂第2版）	共著	あり	南江堂、全296ページ		編集:森 淑江、山田智恵里、正木治恵（担当部分：第Ⅴ章日本の看護師から見た国際看護の実践の場 2. 在日外国人・訪日外国人への医療と看護, 第Ⅷ章在日外国人・在外日本人への医療と看護の実際 1 在日外国人・訪日外国人への医療と看護の実際：齋藤恵子）	2025.12
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	埼玉県助産師会会員における地域活動と継続支援の実態（2023年度活動実績に基づく調査）	共同	第41回埼玉県母性衛生学会（さいたま市）		○ 齋藤恵子、山田美津枝、金子千春1、清水操、天満屋敷千幸、金子弘恵、服部弓子、岡村恵子、平野素尚		2025.11
2	産科医療施設における看護職の性役割態度の実態」	共同	第41回埼玉県母性衛生学会（さいたま市）		○只隈希実、 <u>齋藤恵子</u> 、兼宗美幸、浅井宏美		2025.11
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	シンポジウム 1 「国際的医療人として活躍するためには」 文化をつなぐ看護の視点－周産期における多文化共生への取り組み		埼玉県立大学保健医療福祉学会第16回学術集会（越谷市）		○ <u>齋藤恵子</u>		2025.11
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	該当なし						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	グローバルヘルスと看護	○	7	4年次生看護学専門科目（必修科目）である。グローバルヘルスの現状と課題、多文化共生社会における看護の役割と国際活動の実践について理解できることを学習目標として、科目運営を行った。国際支援に関連する幅広い領域の専門家を非常勤講師およびゲストスピーカーとして招聘し、「やさしい日本語」に関する授業・演習を担当した。
2	母性看護学Ⅰ		2	1年次看護学専門科目（必修科目）である。周産期の看護と文化について、学生が理解しやすい事例を用いて講義を担当した。WebClassを活用し、学生の授業参加を促す工夫を行った。
3	周産期のケア		1	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を担当した。助産師の業務の根拠となる法制度について、具体例を示しながら説明した。
4	分娩期のケア	○	5	4年次助産系履修学生を対象に、助産師が行う分娩期のケア、分娩の生理、産婦の心理・社会的特徴、家族の心理とケア、CTG判読について講義を担当した。講義ではワークを取り入れ、学生が主体的に理解を深められるよう工夫した。
5	助産業務管理		2	4年次助産系履修学生を対象に、国家試験出題基準に基づく助産師国家試験対策授業を他教員と共同で担当した。また、国際助産に関して、国内外の母子保健の課題を踏まえ、国際的な視点から助産師の役割について講義を担当した。
6	大学院博士前期課程 国際保健医療福祉		3	博士前期課程履修学生を対象に、国際保健医療福祉分野における実践的理解を深めるため、国際的な観点から、ジェンダー、LGBTQ+、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、諸外国の母子保健および子どもの栄養に関する基礎知識、現状と課題について講義を担当した。
7	博士前期課程 在宅看護学特論		2	博士前期課程履修学生を対象に、在宅看護に関する国際的視点を養うため、諸外国の保健医療制度および在宅看護・地域ケアの特徴について講義を担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リプロダクティブヘルスと看護		2	看護学科3年次生を対象に、リプロダクティブヘルスに関する関心のあるテーマ設定から資料作成、発表までの一連の演習を支援した。学生が主体的に課題を探究し、発表を通して理解を深められるよう助言を行った。
2	母性看護学Ⅱ		4	看護学科2年次生を対象に、産後の家族計画に関する演習を（45分×8回）担当した。カウンセリング技法を取り入れ、対象者の意思決定を支える看護援助について理解できるよう工夫した。
3	周産期のケア		4	3年次助産系履修学生を対象に、助産師外来演習として、妊娠期の健康診査技術および保健相談に関するグループ演習を担当した。演習目標の達成に向け、学生が個々の課題を明確化できるよう、実践後の振り返りを取り入れて支援した。
4	分娩期のケア	○	6	4年次助産系履修学生を対象に、原理原則に基づいた基本的な分娩助産技術を習得できるよう、学生の主体的な技術練習を支援した。また、分娩第1期のケア、特に入院時のアセスメントと援助に関するシミュレーション演習を担当した。さらに、分娩期の助産過程演習では、グループワークを取り入れ、紙上事例2事例および動画事例1事例を用いた助産過程の展開を支援した。

5	助産学実習Ⅱ		1	4年次助産系履修学生を対象に、分娩介助実習直前の時期に、模擬産婦役の協力者を招聘し、実践に近い状況で分娩介助演習を行った。また、分娩第1期のシミュレーション演習を担当し、実習に向けたアセスメント力および実践力を高められるよう支援した。
---	--------	--	---	---

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習		学外実習： 2025.5～2025.6	3年次看護学科学生を対象に、受け持ち事例を通して褥婦および新生児とその家族を理解し、看護計画の立案、実践・評価ができるよう助言・支援を行った。生殖に関するヘルスプロモーションの実習では、これまでに開拓した外国人集住地域での実習を、地域NPO法人の協力を得ながら継続して実施し、多様性および多文化共生への理解を深められるよう支援した。また、カンファレンスを通して学生の主体的な学びを促進できるよう支援した。
2	総合実習		学外実習： 2025.7	4年次生3名の実習を担当し、学生自身が設定した実習課題を達成できるよう、実習計画の確認、実践への助言、振り返りを通して支援を行った。
3	IPW実習		学外実習： 2025.10	科目責任者会メンバーとして利根地域を担当した。各施設の教員ファシリテーターと協力し、学生の多職種連携に関する学びを支援するとともに、報告会の運営を行った。
4	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2025.8～2025.12	4年次助産系履修学生を対象に、1施設3名の学生を担当し、新規開拓施設における分娩介助実習指導を行った。臨地実習では、個々の学生の実習進捗状況に合わせて、施設実習指導者と情報共有を図りながら連携し、分娩介助実習の指導を行った。また、12月に3週間、新規開拓施設における補習実習の指導を担当した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.4-2026.3	主指導	2名	副指導 0名
2	修士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員） 0名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	大学院助産学分野「助産学特論Ⅹ（国際母子保健活動論）」講義担当	国際医療福祉大学大学院助産学分野	諸外国の母子保健の現状を踏まえた助産師活動（2コマ）	2025.6
2	埼玉県看護協会看護の出前講座	埼玉県立狭山経済高校	性教育講演	2025.7
3	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立松伏高校	性教育講演	2025.5
4	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立幸手桜高校	性教育講演	2025.7
5	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立鴻巣高校	性教育講演	2025.12
6	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立白岡高校	性教育講演	2025.12
7	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立坂戸ろう学園高等部	性教育講演	2025.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	技術専門員 (助産師)	2019.4～現在
2	一般社団法人埼玉県助産師会	理事	2020.5～現在
3	公益社団法人日本助産師会	代議員	2023.5～現在
4	一般社団法人日本国際看護学会	代議員	2025.6～現在
5	公益社団法人日本母性衛生学会	学会誌「母性衛生」専任査読委員	2021.4～現在
6	越谷市立病院	経営審議会第2号委員	2024.10～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	国際協力事業	武里日本語教室	日本語教室ボランティア 2023.8～現在
2	地域貢献活動	埼玉県立大学オープンカレッジ	ユースクリニック企画・運営 2023.9～現在
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会	2024.4～2026.3
2	学生支援	看護学科1学年担任長として、学生生活・履修・進路等に関する支援を行った。	2025.4～2026.3
3	学生支援	サークルLUNA顧問として、学内トイレへの生理用品配備活動を支援するとともに、大学祭におけるユースクリニックの企画・開催を支援した。	2023.5～現在
4	学生支援	助産師を目指す学生に対し、助産師就職相談および助産師課程・大学院等への進学相談を継続的に行った。	2025.4～2026.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	受賞名：優秀演題賞 受賞者：只隈希実 (大学院博士前期課程) 一般演題：「産科医療施設における看護職の性役割態度の実態」 共同演者：齋藤恵子、兼宗美幸、浅井宏美	第41回埼玉県母性衛生学会	2025.11
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		